

航空機搭乗に際して

株式会社タバタ TUSA 営業部

SOLA ライトシリーズは水没事故を出来る限り防止するために充電式電池内蔵型を採用し、基本的にリチウムイオン電池を取り外すことができません。そのため、航空機に搭乗される際は、以下の手順に従ってください。（※国土交通省の航空局安全部運行安全課の指導 [2013/7/26] に基づくものです。）

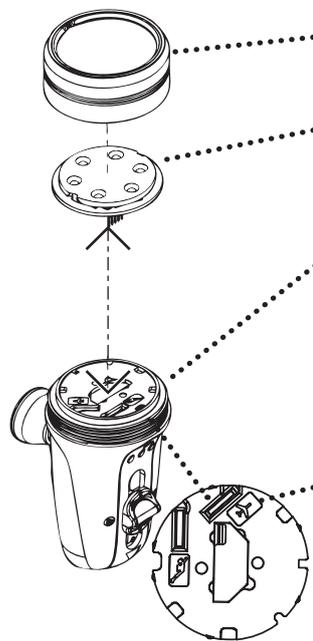
- 航空機に搭乗される際には、事前に以下の方法で LED 基板とバッテリーを分離しておいてください。水没の原因となりますので、必ずホコリやチリの少ない綺麗な室内で行ってください。

これによって、バッテリーが分離されて尚且つ短絡防止もされた状態となり、航空機内への持ち込みが可能となります。（※国土交通省航空局安全部運行安全課 2013/7/26 確認済み）

⚠ 水没注意! ⚠

※水没の原因となりますので、以下の作業は必ずホコリやチリの少ない綺麗な室内で行ってください。

バッテリーと LED 基板の分離法

- 
1. 図のように本体を上に向けた状態で、ベゼルを反時計方向に回して取り外します。
取り外したベゼルは綺麗な物の上に置いてください。
 2. LED 基板をダイバーマークの付いた 1×5 ピンソケットから真っ直ぐに引き抜きます。
(バッテリーと LED 基板が分離された状態になります。)
 - (注) O リングは動かさずに、糸くずや髪の毛等の付着に注意してください。
(砂ガミ、付着物がある場合は使用前に取り除き、市販のシリコングリスを薄く塗布してください)
 3. LED 基板のピンを飛行機マークの付いた 1×5 ピンソケットに差し込みます。
(ダミーソケットなので、電氣的に接続しません。)
 4. ベゼルを被せて、時計方向に回してしっかりとめ直します。
(この状態で航空機内に持ち込むことが可能となります。)
- ご使用前に上記と全く同じ手順で、LED 基板のピンをダイバーマークの付いた 1×5 ピンソケットに真っ直ぐに差し込み戻します。(ピンが折れると点灯しなくなるので、慎重に差し込んでください。)

(裏面に続く)

ご注意

- ① SOLA ライトは荷物と一緒に預けられません。必ず航空機内に持ち込んでください。
※預けてトラブルになった場合、対応ができずに没収される可能性があります。
 - ② 保安検査員に対して、ハウジング内部でバッテリーと本体が分離されていて、尚且つ短絡（ショート）防止状態になっていることをご説明ください。
※必要であれば、スイッチを入れても点灯しないことをお見せください。
 - ③ 保安検査員からワット時定格量を質問された場合は、22.5W/hr（Video4000 は 48.8W/hr）と各航空会社が定める 160W/hr より小さいことをご説明ください。
- ※ 尚、念のために本説明書を保安検査場にお持ちください。また、海外では PSDS（=MSDS）シートが有効となる場合がありますので、併せてお持ちください。どちらも TUSA ホームページ上の SOLA ライトのページからダウンロードすることができます。